

対 策 計 画 書

届出者		大阪市北区茶屋町10番2号 茶屋町西再開発ビル(NU茶屋町)		氏名		茶屋町西再開発ビル区分所有者集会 会長 福井 康樹	
特定事業者の主たる業種				69不動産賃貸業・管理業			
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者				
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者				
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者				
事業の概要		区分所有者集会として、ビルの管理、運営 地下2階 地上9階 主に物販 (地下1階一部飲食店・地上8・9階飲食店)					

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間				
2018 年 4 月 1 日～		2021 年 3 月 31 日 (3年間)		
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		2,985 t-CO ₂		
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		3,059 t-CO ₂		
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		2,895 t-CO ₂		
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		2,965 t-CO ₂		
	選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.1 %
			目標削減率 (原単位ベース)	%
			目標削減率 (平準化補正ベース)	3.1 %

目標削減率に関する考え方

温室効果ガス削減の取り組みとしまして、エネルギー使用量 (電気、ガス) について削減方法を検討し、当ビルをご利用いただくお客様に快適性を損ねることのない省エネルギーを実施し目標達成を目指します。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

当ビルの管理運営を委託しております阪急阪神ビルマネジメント㈱は阪急阪神ホールディングス㈱のグループ会社であり環境対策及び温暖化防止に関しては、阪急阪神ホールディングス㈱の推進体制を主体とします。

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪府貝塚市港16-1	氏名	チヨダウーテ株式会社 工場長 清水 秀幸
特定事業者の主たる業種		21窯業・土石製品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		石膏ボード製造		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間		2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日 (3年間)	
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		7,113 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		7,604 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		6,951 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		7,431 t-CO ₂	
	選択	目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

当社は製造を中心に事業活動を行っています。
本計画書では、目標である平成32年度に大阪府において温室効果ガス3.0% (原単位ベース) の削減に努めていきます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (生産量)	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

全社的に温暖化対策に取り組むため、石膏ボードで使用している原紙を100%再生紙を使用しています。
また、平成32年度までに設備改善及び既設照明設備のLED化を進め、ボイラーの定期点検・燃焼室の掃除を行うとともに、蒸気コンプレッサーの安定稼働を行い温室効果ガスの排出量削減に努めます。